

消防だより

令和4年(2022年)
5月末現在の出動件数

有田川町消防本部 ☎52・5950
吉備金屋消防署 ☎52・5950
清水消防署 ☎25・1243

火災 : 7件
救急 : 561件
救助 : 7件

令和4年度全国統一防火標語 「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

おもちゃ花火を 安全に楽しむために

夜を彩る花火は夏の風物詩ともいえます。レジャー先や各家庭などで「おもちゃ花火」を楽しむ方も多いのではないのでしょうか。

- ・しかし、「おもちゃ」といっても、使い方を誤ればとても危険です。誤った使用による火災や負傷事故を起さないためにも、次のルールを守り、楽しい夏の思い出にしましょう。
- ・花火に書いてある遊び方をよく読んで必ず守る。
- ・花火を人や家に向けたり、燃えやすいものの近くで遊んだりしない。
- ・風の強い日は花火で遊ばない。
- ・たくさんの花火に一度に火をつけないようにし、1本ずつ遊ぶ。
- ・水の入ったバケツなどを用意し、大人と一緒に遊ぶ。

台風に備えましょう

被害を最小限にするため、日頃から台風に備えておきましょう。

- ・ベランダにある物干し竿や外に置いてある植木鉢は、強風で飛ばされる恐れがあるため、雨風が強くなる前に片付けておく。
- ・落ち葉やごみなどにより側溝や排水溝が詰まらないか確認しておく。
- ・停電や断水が発生する可能性があるため、スマートフォンの充電や飲料水を準備しておく。
- ・避難所がどこにあるか確認し、日頃から家族と情報を共有しておく。
- ・避難時に持ち出せる非常用持ち出しバッグを準備し、定期的に補充、確認をしておく。



水難事故に要注意

毎年、川や海での水難事故が発生しています。これからの季節、川や海で遊ぶ機会が増えます。水辺でのトラブルは重大事故になりやすく、子どもの事故は河川で多く発生しています。

安全に楽しむために

- ・ライフジャケットを正しく着用する。
- ・流れが速い場所、深い場所は十分に注意する。
- ・ダムの放流や大雨による増水に注意する。
- ・保護者は、子どもから目を離さない。
- ・子どもだけでの水泳や水遊びはさせない。

こんな時はすぐに避難を

- ・上流の空に黒い雲が見えたとき。
- ・落ち葉や流木、ごみが流れてきたとき。
- ・雨が降りはじめたとき。
- ・雷の音が聞こえたとき。

※近年、水路やため池に落水する事故も多発しています。不用意に水路やため池に近づかないようにしましょう。

病院の案内

「救急車を利用するほどではないけど、受診できる病院がわからない」という方に、受診可能な医療機関を案内しています。

- 和歌山医療情報ネット
スマートフォンやパソコンなどで「わかやま医療情報ネット」と検索する。
- 救急医療情報センター ☎073-426-1199 (24時間対応)
- こども救急相談ダイヤル(平日19時～翌朝9時、土日祝9時～翌朝9時)
☎#8000(プッシュ回線・携帯電話) ☎073-431-8000(ダイヤル回線・IP電話)

